

社会科でよく出題される資料の分析問題の一つです。この問題のポイントは、大阪府が**B**で1位となり、東京都が**C**で1位となっている点です。大阪府は南西部の泉州地域でタオルや毛布、じゅうたんなど、繊維産業がさかんであること、軽工業で単価が低いために出荷額の総額も少ないことから**B**は衣服・その他の繊維製品と判断できます。また、東京が情報の中心であり、印刷業や出版業がさかんであることを考えれば、**C**が印刷・同関連業であると判断できるでしょう。なお、残る**A**の電気機械器具は、東京都でも大阪府でもさかんですが、1位は愛知県です。こうした問題では、日本の各地方や都道府県の産業の特徴を思い浮かべるとともに、様々な情報を横断的に結びつけることが重要になります。また、業種や順位だけでなく、金額の大小も判別の際のヒントとなります。

[平成 22 年度出題]

正解

オ

	東京都	大阪府
家具・装備品	1,028 (8位)	1,989 (2位)
一般機械器具	9,953 (10位)	24,401 (3位)
食料品	7,206 (11位)	9,943 (9位)
電気機械器具	10,058 (5位)	11,217 (4位)
衣服・その他の繊維製品	831 (5位)	2,020 (1位)
印刷・同関連業	16,606 (1位)	6,371 (3位)